

大阪の藤井電気工事 社員2割が宿毛工卒

縁つながらり求人24年

「根性ある」深く信頼

【大阪支社】社員の多数が宿毛工業高校出身という会社が大阪府吹田市にある。大型施設の電気工事を手掛ける「藤井電気工事」。24年前から毎年求人が出され、今では社員約40人中8人が出身者。安藤一彦社長(53)は「黙々と頑張る根性のある子が多い。わが社の主力」と信頼を寄せている。

(佐藤邦昭)



同社は主に大手ゼネコンの下請けとして関西の建設工事現場で電気工事を受注。総資産約19億円、昨年売上高は約10億円。JR大阪

駅そばの複合商業施設グランフロント大阪などを手掛けた。社員は現場作業の責任者、職長として工事作業員

をまとめている。高知県との縁は1990年、大方商高(現大方高校)出身、浜田勅史さん(45)の入社が始まり。

浜田さんは、かつて大阪で電気工事技術者をしていた父の光彦さん(74)に「四万十市」と、同社元社長、安藤

真一さん(故人)との26番やな。まだコンクリートがむき出しの建物の中で山中さんの声が響く。現在は神戸市中央区に建設中の超高层建筑「サンシ」を出すという。

安藤社長は「最初のきっかけは偶然の縁だが、それだけで採用を縮まる」と笑顔。

親交の縁で就職。浜田さんが果敢に働いた2年後、ほかにも高知の人間を探ってみようかと人事担当者が帰郷時に浜田さんが宿

テイタワー神戸(地上131階、35階建て)の電気工事任せられている。取材に訪れた日は非

常灯やインターホンなど、マンシヨンの防災防犯システムに信号を送る電線の配線作業を指揮していた。



①「完成した建物にパパーって明かりがとる瞬間が最高なです。勢ぞろいして語る宿毛工高出身の社員と縁をつないだ浜田勅史さん」②右端(大阪府吹田市)の藤井電気工事 ③建設現場で電線の束を手指示を出す山中慎也さん ④左端(神戸市中央区)